

# 令和3年度鶴岡市市民まちづくり活動促進事業

～まちづくりチャレンジコース～

## 「若者世代と歴史ロマン」 二つの宝を結ぶミュージカルの創造

ミュージカル「蜂子の皇子物語」奈良あすかり帰り公演実行委員会

### 申請団体:ミュージカル「蜂子の皇子物語」奈良あすかり帰り公演実行委員会について

#### 【団体概要】

- ・出羽庄内市民ミュージカル(平24年設立)の「蜂子の皇子物語」奈良県あすかり帰り公演援助を目的に、令和2年(2020年)に設立。
- ・構成メンバー10名(うち4名は、公演団体「出羽庄内市民ミュージカル」メンバー、他に奈良関係・芸術関係者など)。
- ・山形県市町地域での後援申請を担当。
- ・明日香村教育委員会はじめ関西県人会・桜井市・樺原市の行政・民間団体(神社関係・客演団体楽隊混声合唱団と奈良女子大古代衣装同好会も)・関西方面マスコミとの折衝にあたる。(代表の関西方面訪問は計5回)。
- ・(庄内での)実行委員会開催は、2020年1月11日第一回から計20回。

出羽庄内市民ミュージカルの二年間の活動を応援し、「あすか公演」成立までの道を先導。



YouTube撮影～蝦夷館公園(令和3年4月24日)

#### ミュージカル2021年の活動



出羽三山神社奉納公演(8月22日)



プレ公演前に～実行委員も出演～

#### 【実施背景】(地域特性・その他)

「蜂子の皇子の物語」をミュージカルにして9年になりました!

出羽三山の開祖と言われる蜂子の皇子は、厩戸の皇子の勧めで、明日香の都の政争から日本海を北上して逃れ、由良海岸に上陸、出羽三山で修行、復讐心を民への思いに昇華させ人々を苦しみから救う道を開いた。

その歴史ロマンを知らない若い世代が、地元にも多い事が残念で、2014年(平26)にミュージカル「蜂子の皇子物語」を創作(脚本は、宗像市の世界遺産登録の貢献の1人、坂口聡氏に依頼。)

劇場版は、子供世代を主人公に作り直し、地域活動センター、出羽三山神社境内・斎館等で、長編(タクトなどで2時間)・短編(30分)・日本語・インバウンド(英語)版 庄内各地 計16回公演、4,000人以上の観客を動員。



2014年8月 羽黒と由良で、初公演。お客様の熱気がすごっ。 2018年2月タクト公演。観客1,100名。 2019年9月4回目のインバウンド公演。

#### 【事業目的】

「蜂子の皇子物語」を皇子の故郷 あすか(明日香は村名・飛鳥は明日香を含む古代地域名。)で!

蜂子の皇子の故郷でも、皇子の言い伝えはほとんど知られていない、と云う事が判り、「皇子の故郷あすか地方」でミュージカル「蜂子の皇子物語」を上演しようという話を持ちあがった。実行委員会を結成し、公演団体はこれまでの活動をよりレベルアップさせるための活動を充実させ、実行委員会は出羽庄内市民ミュージカルと連携し、あすか公演の成功の為の諸活動を目標に、活動開始した。

#### 【令和3年度事業実施計画と状況】その①

##### 1、YouTube動画アップ(春・夏・秋) The Amazing Story of Prince Hachiko "Second Season"

2021年6/26 春はYouTubeアップできた2022年4/12 再生719回(英語字幕付き・海外からが7割)が、パソコン性能が悪いため(時間がかかる・カクつく等)と、諸活動に時間をとられ、夏・秋のアップは、出来なかつた。



##### 2 神前奉納公演(2021年8月22日)

出羽三山神社合祭殿  
全国的にコロナ第5波の中、公演を迷ったが、神社さんの配慮で、無観客・マスク着用で実施。  
公演後は、合祭殿前で、(実行委員の準備あり)  
明日香村児童達 4名と  
オンライン交流ができた!



電波状況良好!オンライン交流中。

合祭殿で八乙女の舞い。

##### 3 藤島音楽祭への参加

令和3年11月6日 藤島地区地域活動センター  
～行政の応援があり、2曲を発表!～  
難しいと敬遠された曲に挑戦しました!



【八乙女の舞い】(笑顔で、歌と舞い)



【愛に溶けていく心】(約7分の新曲デュエット)

【令和3年度事業 実施計画と状況】その②

4、里帰り公演ふし公演

(あすか公演の前の地元披露とリハを兼ねた公演。)

令和4年1月30日(日)鶴岡市中央公民館での予定だったが、コロナ第6波の広がりが予想を超えて、庄内に。ジュニア達の校外活動禁止となったため、公演を2月20日(日)に延期。

2月20日(日)が、コロナ蔓延防止期間のため、無観客公演に。客演の鶴岡東高校は不参加。客演山伏と由良八乙女太鼓は参加。

①延期期間中、市営施設を使用不可、練習会場探しに苦労。実行委員が会場を探してくれた。感染予防で集まれない為、5,6人ずつの小グループでの練習に切り替えた。心残りは有るが、精一杯の公演だった。

②会場にワイハイ設備が無いので、明日香村にオンライン配信が難しい中、明日香村等に送るDVD映像制作することに、重点をおき、撮影に力を割いた。

③マスク着用公演にするか直前まで迷った。参加者・保護者の意見で、抗原検査を行い、全員陰性を確認のうえ、マスクなし&マウスシールド着用で、上演する事になった。

④協力者がいっぱい、感謝！  
 ご指導の先生方(声楽・ダンス・演出・殺陣)  
 保護者・スタッフ・撮影業者  
 由良八乙女太鼓・山伏  
 受付藤島地域婦人会  
 実行委員(敬称略)

の皆さんの協力が有ったからこの公演でした。



通常よりカメラの台数を増やして撮影をして、DVDに編集。



由良八乙女太鼓、山伏は予定通り客演、華を添えてくれた。皆さんに感謝。



客演予定の鶴岡東高校吹奏楽部、チア部、合唱部が出演できなかったのが残念でした。

【令和3年度事業 実施計画と状況】その④

「蜂子の皇子物語」を、明日香村で上演し、関西地域との交流を果すためあすか公演を実現する。

1月中旬に、鶴岡市内にコロナ第6波の波が起こった。その時は、「2月はともかく、3月には絶対治まる！」と、皆、樂觀していた。だから、1月公演が延期になり、稽古場が無くて、乗り切れた。しかし、3月に入っても鶴岡市の感染状況が好転しない。不安な思いが忍び寄る。それでも、2月20日のふし公演後は、3月20日に予定したあすかり帰り公演に向けて、気持ちを切り替え、邁進した。

3月はじめ、明日香行き辞退の人が、出演(スタッフキャスト)の人数3分の1を超えてしまい、あすかり帰り公演中止を検討せざるを得なくなる。

3月3日夜、急遽 あすかり帰り公演実行委員会を開催した。

明日香辞退の人の理由(皆迷いに迷って辞退した事が、うかがえた。言葉は、簡略化している。)

- 1, 2月いっぱい、コロナ感染者数などの状況を見て悩んできた。小学生はワクチン注射をしていないので、不安。自分も明日香と一緒に行くつもりだったが、会社の空気も有る。(保護者)
- 2, あすか公演が決まった時(2019年)はコロナもなくて、「おじいちゃん、おばあちゃんもみんな一緒に行こう。」と言っていたのだけど、「今は、それどころでなくなった。」と。(小学生保護者)
- 2, (現役社会人は、)周囲や会社から「県外に出ない様に。」という指示(またはその空気)を受けている。(出演者)
- 3, 「ここで、県外に出るのは、会社を辞めないと明日香にいけなくなるかも。」と。(出演者)

コロナ禍が生活に落とす影響は大きく、実行委員会は、あすか公演中止を承認。苦渋の決断だった。

【令和3年度事業 実施計画と状況】その④

公演変更。公演の変更が、4回続いた。公演毎にその対応は変わった。中止は決行と同じ位大変を実施。

① 8/22奉納公演

日程は変わらず、無観客に。約20名の観劇希望者がおいでになったが、あらかじめ頂いていた連絡先25軒に、電話でお知らせ。



公演日の会場に、延期を御存じない方がおいでになったら、と、公演は中止だが、待機。(1月30日)

② 1/30あすかり公演  
延期→2/20に。

配信予定だった明日香村教委に実行委員代表が、延期&次回設備が無く配信が難しいので、2/20は、DVD制作送付予定を知らせる。ミュージカルメンバー4名で、協賛企業・マスコミ140通の郵便でお知らせ。



間に合わない、間に合わない、と、残業もしました。(1月30日)

③ 2/20あすかり公演

無観客公演に。(鶴中央公民館)あすかには、配信が出来ないので、DVD制作の上、郵送を、と。庄内地域の対応有観客公演が不可になった事を、140通の郵便でお知らせ。公演後、公演の写真と初舞台の出演者の出演感想文をハガキで公演報告を行った。



まちがいの無い様に、と、2回目の郵送作業も、神経を使った。

【令和3年度事業 実施計画と状況】その④

④あすか公演中止関連事業  
あすか・関西方面のお詫び行脚

1, 代表が関西地域にお詫び訪問。関西方面に9日間滞在し、53件の訪問等を行い、報告とお礼とお詫びを行った。

2, 庄内を理解してもらい配り物を。公演で配布予定だった庄内米や、観光パンフレットなど、お土産と一緒に配布した。

3, 客演予定だった「楽桜混声合唱団」・「奈良女子大古代衣装愛好会」には、鶴岡まちづくり塾羽黒グループ編集「はちこの皇子物語」を、お土産に。



配付したプログラムや、パンフ。他にシート米つや姫なども。



「出羽三山開山」「庄内平野」等を練習の合唱団



「八乙女の舞い」に賛助出演予定だった奈良女子大の皆さん。

庄内に残ったメンバーにも中止業務が。

1, 演出・舞台監督として招聘していたプロの方達への報告と対応についての相談。

2, 大阪方面の舞台照明、音響プロとの折衝。

3, あすか公演を申し込まれた方(106名)への公演中止のお知らせを電話で手分けして。

※電話掛けは、緊張したが、皆さん「こんな状況だから、仕方ないですね。」「御縁が出来たから、庄内に行ってみよう。」「出羽三山に言った事があって、蜂子の皇子に興味があった。」など、大変フレンドリーに、御理解頂けたようだった。

## 4.【事業の成果】

### 【事業の成果】

- ①GCFについて 11月15日から開始のGCFへの協力をお願いした。  
CFになれた人は、「今年の減税される金額は満額終わっている。」と。  
寄付経験なしの人は、「寄付の仕方がわからない。」など混乱。  
GCF採用が不明な時期は、積極的働きかけが出来ず、実行委員会メンバーも不慣れだったが、寄附金は目標金額の53%集まり、有りがたかった。  
寄付を集める期間を1月15日までに半月延長してもらえたことは、良かった。
- ②実行委員会について  
実行委員会は20回開催し、あすか公演についての保護者説明会6回行い、保護者・参加者の理解が深まった。（あすか行き直前に、参加者が減り、あすか公演不可になったが、理由はコロナ禍による。）
- ②代表の5回にわたる関西地域への訪問は、奈良あすかとの絆を深める力となる。2022年10月に予定しているあすか歴史劇団を迎える「出羽の国・大和の国歴史劇交流公演」の成功につなげたい。
- ③初舞台高校生の感想は？(抜粋) → 蘇我軍兵士役を体現して、理解してくれた！！  
・今回のミスを活かして3月の奈良でより良いものができるよう頑張っていきます！！（高2男子）  
・自分たちの地域にまつわる話をやってみて、今までなんとなく見てきた由良の景色や羽黒山などに対する見方が変わったような気がします。また、現地に行った際、地形などにも注目できたらいいと思います。貴重な体験ができ良かったと思います。（高2男子）

9

## 5【今後の課題】

- 1、ミュージカル活動では、コロナ禍での活動の道、参加者のモチベーション維持の道を模索しながら、活動を継続する。
- 2、「ミュージカル『蜂子の皇子物語』奈良あすかり帰り公演実行委員会」は、あすか公演を目標として活動して来たものである。あすか公演が中止となった今は、構成メンバーは変わらないものの名称・組織などについて見直して、新組織を立ち上げ、新たなステージで、本年10月の「出羽の国・大和の国 歴史劇交流公演(仮題)」を成功させようという話が出ている。現在、原案について、相談中である。
- 3、本年度(令和4年度)の活動については、既に、芸術文化協会関連。

- ①タクト(予定)短編公演・9月、
- ②歴史劇公演(中央公民館)・10月、
- ③県民会館公演短編公演・11月、
- ④藤島音楽祭・11月 など、予定。

- ⑤出羽庄内市民ミュージカル単独で、5月に有観客公演を計画している。

参加者を募集し、新人を養成しながら、活動を進めたい。

飛鳥劇団「時空」歴史劇「大化の改新」が、22年10月30日に鶴岡に来る！→



10